

6 月 定 例 記 者 会 見 次 第

日時 平成 29 年 6 月 13 日 (火)
午後 2 時から午後 3 時半まで
場所 基山町役場 4 階 大会議室

1. 開会
2. 町長の挨拶
3. 平成 29 年第 2 回定例会 (6 月議会) 議案について
 - ①概況 P1
 - ②主な事業 P2
 - ア. 基山町ブランド化推進事業～小さくてもキラリと光る町へ～P3
 - ・山村集落による里山サカキプロジェクト P4
 - ・特産品開発事業 P5
 - ・子育て家族セルフデザインプロジェクト P6
 - ・食やスポーツに基づく健康ブランド事業 P7～8
 - ・双方向型地域情報サービス P9
 - イ. 合宿所建設事業 P10～14
4. 新規事業、イベント情報等について
 - ①「エミューシンポジウム」を開催します P15
 - ②「第 30 回きのくに祭り」が開催されます P16
 - ③「由紀さおり・安田祥子コンサート」を開催します P17
 - ④「世襲戦隊カゾクマンⅡ」を開催します P18
 - ⑤2017 男女共同参画週間記念フォーラムを開催します P19
 - ⑥基山町立図書館はおかげさまで 1 周年を迎えました P20
 - ⑦ 4 歳児就学準備事業 (発達状況調査) の結果を通知します P21～23
 - ⑧特定健診受診 (ピロリ菌検査) や「いきいき百歳体操」で健康ポイント獲得! P24
5. その他
6. 閉会

平成29年 第2回定例会議案 概況

- 【同意】同意第 2号 基山町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること
について
- 【同意】同意第 3号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第 4号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第 5号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第 6号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第 7号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第 8号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第 9号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第10号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第11号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第12号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【同意】同意第13号 基山町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 【可決】議案第14号 佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について
- 【可決】議案第15号 平成29年度基山町一般会計補正予算（第2号）
- 【可決】議案第16号 平成29年度基山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 【可決】議案第17号 平成29年度基山町下水道事業会計補正予算（第1号）
- 【可決】発議第 2号 基山町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 【採択】意見書第1号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
- 【採択】意見書第2号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書
- 【不採択】意見書第3号 九州電力玄海原子力発電所3、4号機の再稼働に反対する意見書
- 【不採択】意見書第4号 「共謀罪」と同趣旨の「テロ等組織犯罪準備罪」創設に反対する意見書
- 報告第 2号 基山町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 報告第 3号 基山町土地開発公社の事業報告について

主な事業

地方創生推進交付金事業

地方創生推進交付金一覧表(6月補正) 歳入

(単位:千円)

(13款2項8目 国庫補助金) 地方創生推進交付金	国庫補助金		
	当初予算①	補正予算(6月)②	合計③=①+②
I. 地方創生推進交付金(道整備交付金事業分)	20,600	8,275	28,875
II. 地方創生推進交付金(平成29年度第1回新規認定事業分)	0	14,856	14,856
III. 地方創生推進交付金(地方創生拠点整備に係る効果促進事業分)	0	150	150
合計	20,600	23,281	43,881

地方創生推進交付金事業一覧表(6月補正) 歳出

- I. 地方創生推進(道整備)交付金事業 : 基山町の発展に向けた交通ネットワークの整備
 II. 地方創生推進交付金事業(平成29年度第1回) : 基山町ブランド化推進事業～小さくてもキラリと光る町へ～
 III. 地方創生拠点整備交付金に係る効果促進事業 : 宿泊機能のネットワーク化に向けた拠点施設の整備プロジェクト

(単位:千円)

歳出科目					事業説明	事業費			財源内訳(補正後)					
						当初予算①	補正予算(6月)②	合計③=①+②	国費		ふるさと応援寄附基金繰入金	起債	一般財源	計
									当初	6月補正				
8款	2項	2目	15節	I	白坂久保田2号線道路整備事業	41,200	16,550	57,750	20,600	8,275	0	26,000	2,875	57,750
2款	1項	6目	13節	II	ホームページリニューアル業務委託料	12,960	0	12,960	0	2,500	10,400	0	60	12,960
3款	2項	1目	13節	II	子育て家族セルフデザインプロジェクト業務委託料	0	1,800	1,800	0	900	900	0	0	1,800
4款	1項	4目	13節	II	健康ブランド化推進業務委託料	0	12,500	12,500	0	6,250	6,200	0	50	12,500
7款	1項	1目	13節	II	里山サカキプロジェクト業務委託料	0	1,080	1,080	0	540	540	0	0	1,080
				II	特産品開発業務委託料	0	6,000	6,000	0	3,000	3,000	0	0	6,000
				II	産業振興協議会補助金	0	3,332	3,332	0	1,666	1,660	0	6	3,332
10款	4項	1目	13節	III	宿泊ネットワーク調査業務委託料	0	350	350	0	150	200	0	0	350
合計						54,160	41,612	95,772	20,600	23,281	22,900	26,000	2,991	95,772

基山町ブランド化推進事業～小さくてもキラリと光る町へ～ 事業概要

平成29年度 地方創生推進交付金(第1回)

① 山村集落による 里山サカキプロジェクト

森林所有者が連携して榊の増産を目指す。また作業の効率化を促進するため林地内の作業道を整備する。さらには、廃棄していた未利用部分を利用した六次産品を開発し販路の拡大を図る。

【担当課:産業振興課】



- ・森林所有者の所得向上
- ・基山産榊の品質安定
- ・ブランド力向上
- ・販路拡大
- ・作業の効率化
- ・山林の保全

② 子育て家族セルフデザインプロジェクト

子育て中の保護者のワークショップなどを通じて、利用者の視点で知りたい情報を反映させた「子育て支援ガイドブック」を作成する。

【担当課:こども課】



- ・子育て世代から見たまちの魅力発見
- ・情報発信
- ・地元への愛着形成
- ・仲間づくり

③ 食やスポーツに基づく健康ブランド事業

スロージョギング®の運動効果と「キクイモ」の摂取による健康増進の効果を検査等を行い、分析結果を検証する。

【担当課:健康福祉課】

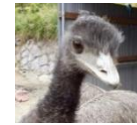


- ・健康意識の向上
- ・健康生活の増進
- ・スロージョギング®の継続実施
- ・キクイモの栽培促進
- ・健康なまち基山のアピール

④ 特産品開発事業

注目されているエミュー等が真の特産品となるとともにブランド力の向上を図る。またそれぞれの特産品のブラッシュアップを図る。

【担当課:産業振興課】



- ・六次産品の開発
- ・特産品の販路拡大
- ・宅配、通販、基山PAの利用促進
- ・飲食店等との連携

⑤ 双方向型地域情報サービス

基山町ホームページで様々な発信ツールを媒体として、利用者等が自由にアクセスできる情報システムを構築する。

【担当課:総務企画課】



- ・自治体と地域住民との情報共有
 - ・自治体
 - ・里山住民
 - ・まちの住民
 - ・健康志向グループ等々

小さくても ✨キラリ✨と光る

基山町

p3

◇選ばれる町へ～
ブランド化推進!

地方創生推進交付金事業（基山町ブランド化推進事業）について

事業名	山村集落による里山サカキプロジェクト	
事業目的	<p>基山町は、人工林率 72%と森林整備が進んでいるが、近年では、林業の低迷により町内に林業従事者はおらず、森林所有者も高齢化に伴い山の手入れがほとんどされていない状況にある。</p> <p>そのような状況のなか、城戸生産森林組合は、ヒノキの林床を活用した榎の栽培を平成 15 年から開始し、現在では、5.5ha に約 1 万 5 千本の榎の栽培を行い、平成 29 年 2 月には佐賀県地域産業資源の認定を受けるまでに至った。また、その榎は、市場からの引き合いも多く、国産榎として、その品質を含め評価が高まっている。</p> <p>一方で、城戸生産森林組合が所有する面積は 19.5ha あるが、栽培適地が限られ、組合単独での市場への供給拡大は難しい状況にある。</p> <p>そのため、基山町産業振興協議会が事業主体となり、城戸生産森林組合や森林所有者が連携した榎の生産体制を構築し、商品パッケージ作成やデザイン改良等に取り組むことで、基山産榎のブランド確立を図る。</p>	
事業計画	29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業推進体制整備、栽培地の選定 ・ 榎苗の定植（1 ha） ・ 作業道の整備（200m） ・ 栽培指導 ・ パッケージ作成及び商標登録
	30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業推進体制整備、栽培地の選定 ・ 榎苗の定植（1 ha） ・ 作業道の整備（200m） ・ 栽培指導
	31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業推進体制整備、栽培地の選定 ・ 榎苗の定植（1 ha） ・ 作業道の整備（200m） ・ 栽培指導

地方創生推進交付金事業（基山町ブランド化推進事業）について

事業名	特産品開発事業	
事業目的	<p>ブランド確立による尖った町づくりを目指すため、基山町で可能性が高い特産品等のブラッシュアップを行う。</p> <p>具体的には、ふるさと納税の返礼品としても注目されたエミュー、柿、イチゴ、工芸品等に着眼して、それらの商品が基山町を象徴する特産品となるようなブランドに仕立てるとともに、基山町が誇る居酒屋群、キャンプ場、宅配・通販などのツールをフル活用して、特産品の販路拡大を図る。それらを実現するため、専門家から六次化のマッチング、地域資源の掘り起し、商品やパッケージのデザイン、販路の見直し、さらには基山町全体としてのブランドのコーディネートについてアドバイスを受けながらブランド化を図る。</p> <p>計画として、1年目に、ブラッシュアップすべき商品群を選出して、新たな販路や商品のアピール方法について検討する。2年目には、個別事業者のブラッシュアップのフォローを行う。</p>	
事業計画	29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援アドバイス（30社）
	30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援アドバイス（15社）

平成 29 年 6 月 13 日
基山町 こども 課

子育て家族セルフデザインプロジェクト

妊娠・出産・育児に対する不安を解消するために、子育て中の保護者のワークショップなどを通じて、利用者の視点で知りたい情報を反映させた「子育て支援ガイドブック」をビジュアル的に作成します。

町民自ら作成に携わることで、「地域の子育てのしやすさ」や「なかまづくりのきっかけ」とし、より子育てのしやすい環境を目指します。

<ワークショップ>

(イメージ)



(ワークショップで得られる効果)

- ・ワークショップを通じた仲間づくり。
- ・子育て世代から見たまちの魅力発見
- ・情報発信。
- ・地元への愛着形成。

<掲載情報 (予定) >

妊娠や出産における知識、保育所・幼稚園について、小学生・中学生になったら、子育てに悩んだら、ひとり親家庭の支援について、障害のある子どものために、その他、町内マップ等子育てに必要な情報。

<成果物>

出生届提出時や転入時の窓口配布に加え、町内保育園、幼稚園、医療機関、公共施設等に設置、配布予定。

基山町ホームページにも、わかりやすい形で掲載予定。

食やスポーツに基づく健康ブランド事業

～ 産学官連携により『健康づくりのまち基山』をめざします！！ ～

【事業の目的】

- ・ 基山町民、基山町全体の健康増進
- ・ 『健康づくりのまち基山』としてのブランドづくり
- ・ 基山町の各種商品の健康ブランド化（機能性表示食品等）

【事業の概要】

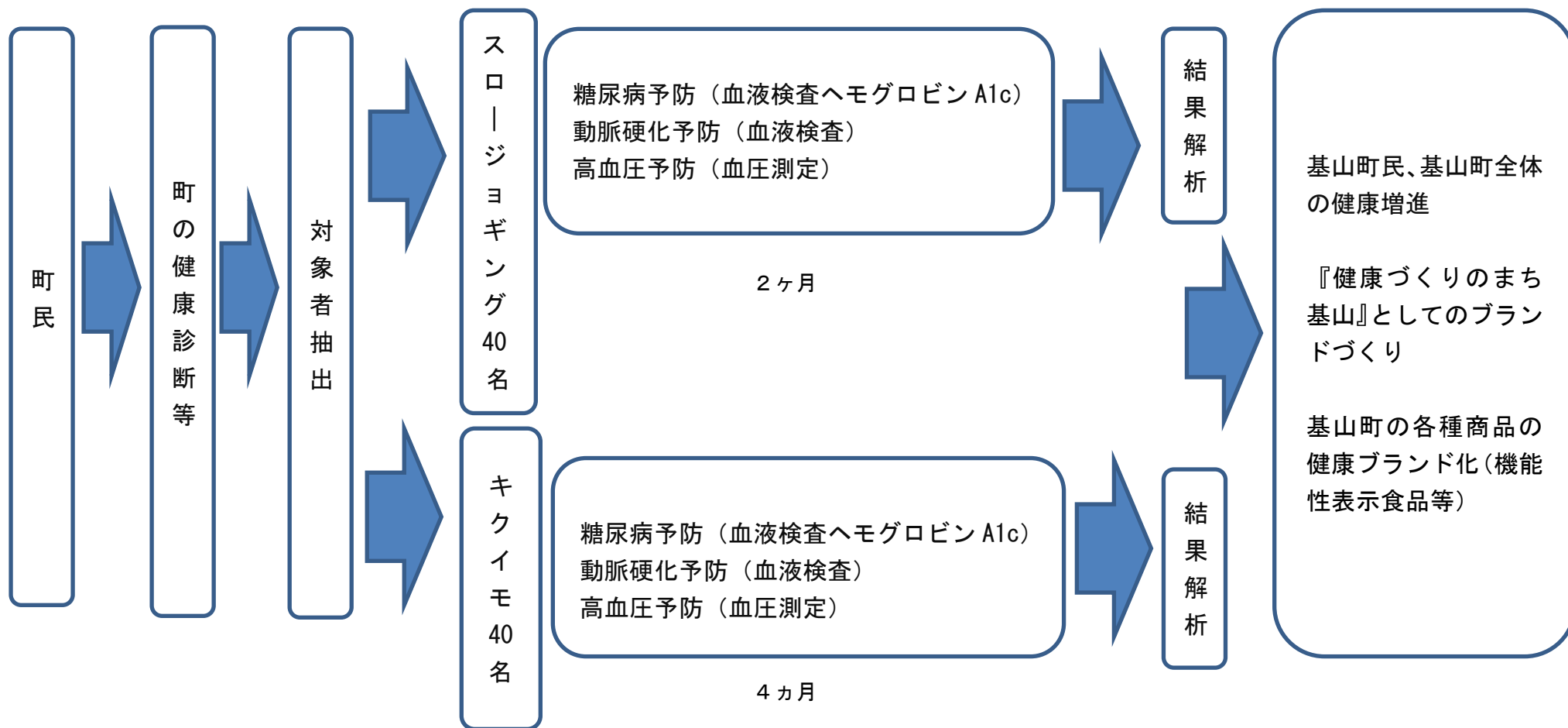
本町の健康ブランド化を推進するため、町民参加型の臨床試験を行います。具体的には、基山町で定着しつつあるスロージョギング[Ⓜ]の運動効果と血糖値を下げる効果があるとして注目され、基山町で栽培が始まっているキクイモの摂取による健康増進の効果を血液検査等の測定により、その効果を解析します。その後、解析結果を基にスロージョギング[Ⓜ]の普及とキクイモ摂取を促すことにより町民の健康づくりを図り、『健康づくりのまち基山』の実現をめざすとともに、基山発「機能性表示食品」等の開発を行い、その成果を町内外へ情報発信します。

【予算額】 12,500千円

【具体的な取組】

1. スロージョギング[Ⓜ]の田中先生（福岡大学）並びにキクイモ研究の松本先生（佐賀大学）、成分分析の清水先生（九州大学）、大貫先生（近畿大学）及び町内の医療機関、関連企業等からなる「基山町健康づくりのまち基山委員会（仮称）」で今後の基山町の在り方を検討する。合わせて、町民への理解の増進を図るために講演会を開催する。
2. ① スロージョギング[Ⓜ]
福岡大学と連携しながら、スロージョギング教室（約2ヶ月）の受講者の中から40名を臨床試験の対象者として抽出し、ヘモグロビンA1c、血中脂質、肝機能等の血液検査や血圧測定を行い、測定値改善の解析を行う。
② キクイモ
九州大学、佐賀大学、福岡大学、近畿大学及び町内の医療機関と連携しながら、町民の健康診断により血糖値が高い方40名を臨床試験の対象者として抽出し、キクイモの摂取期間を4ヶ月間設け対象者からキクイモの摂取前と後に、ヘモグロビンA1c、血中脂質、肝機能等の血液検査や血圧測定を行い、測定値改善の解析を行う。
3. 臨床試験期間は、スロージョギング[Ⓜ]を2ヶ月、キクイモを4ヶ月とし、それぞれ40名で行い、臨床試験の結果は、キクイモを使った商品を健康の維持及び増進に役立つ特定の保健の目的が期待できる基山町の「機能性表示食品」として販売を展開していく。

< 具体的な取組 2 のイメージ >



双方向型地域情報サービス

基山町ブランド化推進事業の4事業（①山村集落による里山サカキプロジェクト、②子育て家族セルフデザインプロジェクト、③食やスポーツに基づく健康ブランド事業、④特産品開発事業）を円滑に推進するための双方向型地域情報サービスの構築をホームページリニューアルの一環として行います。

上記、4事業のメンバーや町民等を情報発信者として、さまざまは情報を発信していただき、生産者、販売者、サービス利用者、購入者等が自由に交流できる新たなコミュニティを形成し地域ブランドの強化及び、自治体との情報共有の加速化を目指します。

記

1. 構築機関 : ~ 平成30年3月
2. 新規機能 :
 - ・ポータルサイト・ブログ機能
個人や団体が容易にホームページの作成が可能。
個人や団体のホームページに文書や画像などを入力することで簡単に情報公開が可能。
 - ・アンケート機能
アンケートによる意見や、イベント後の感想などの収集などを予定しています。
3. その他 : 今後、上記機能を実現するため機能確認後、公募型プロポーザルを予定しています。

合宿所建設事業

予算内訳(6月補正)

◎地方創生拠点整備交付金、整備対象事業施設の施設整備事業

歳入(13款2項8目1節)

(単位:千円)

施設整備(工事費)	88,000		
効果促進(監理委託)	8,000		
交付対象事業費(合計)	96,000	1/2補助→	48,000

歳出(10款4項1目)

(単位:千円)

節	予算要求額	交付金	ふるさと応援寄附基金繰入金	一般財源
12節 役務費(申請手数料)	141		140	1
13節 実施設計追加分	3,200		3,200	
13節 工事監理委託	8,400	4,000	4,400	
13節 工事監督員支援業務委託	2,560		2,560	
15節 工事費	93,000	44,000	49,000	
17節 公有財産購入費(用地)	16,800		16,800	
17節 公有財産購入費(家屋・附属施設)	8,200		8,200	
合計	132,301	48,000	84,300	1
			132,301	

◎地方創生推進交付金を活用して実施する効果促進事業(ソフト)

歳入(13款2項8目1節)

(単位:千円)

調査委託料	300	1/2補助→	150
-------	-----	--------	-----

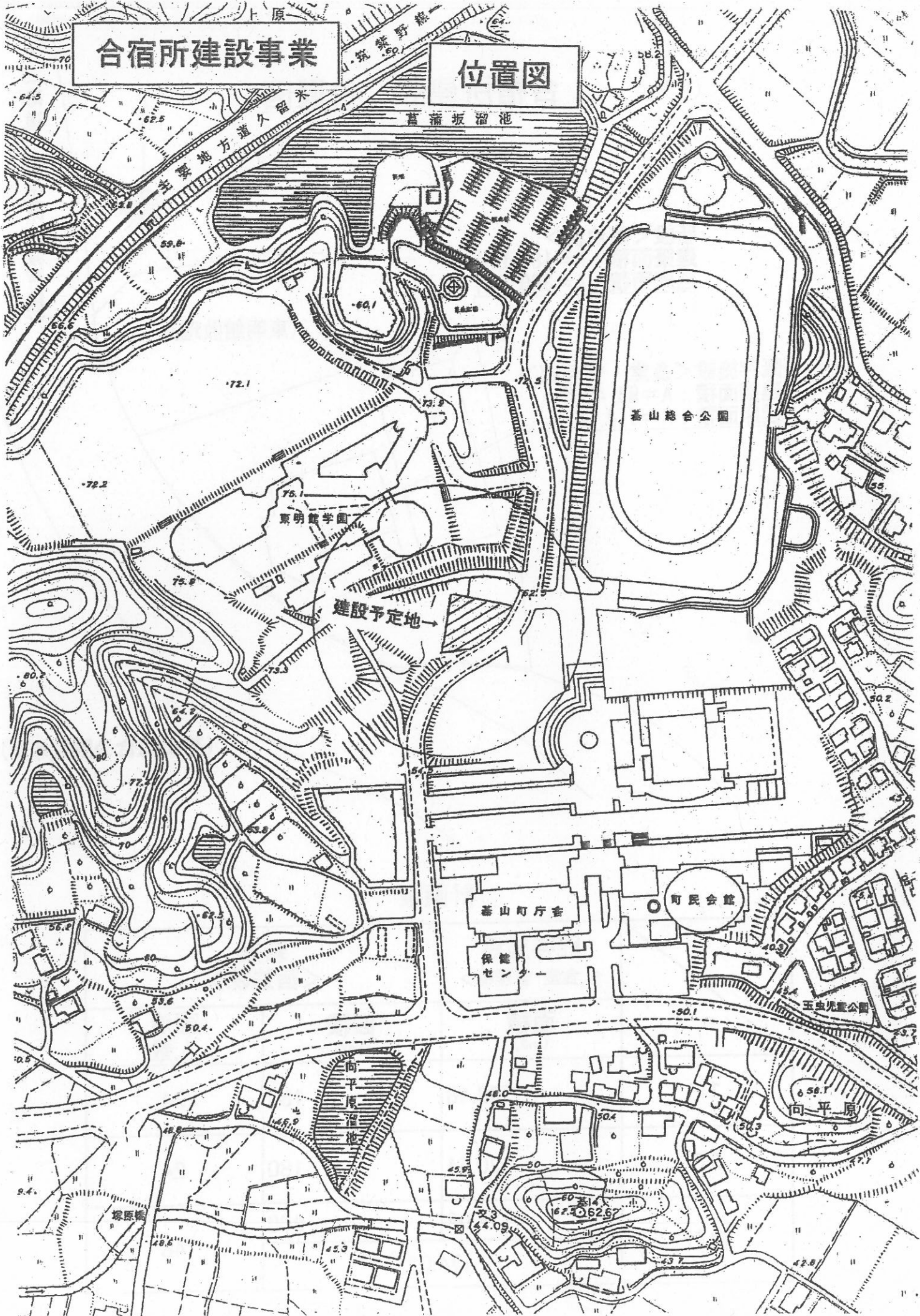
歳出(10款4項1目)

(単位:千円)

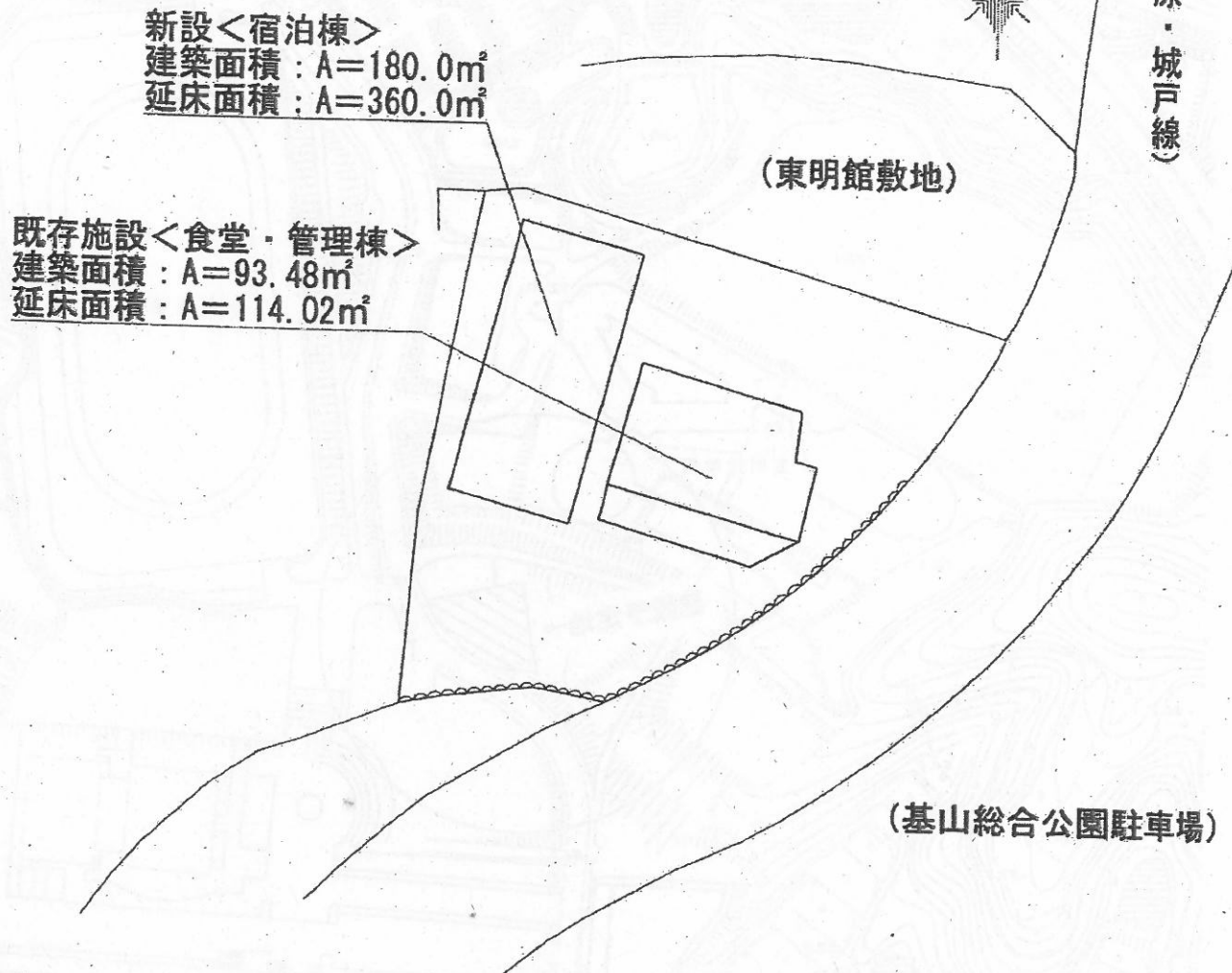
節	予算要求額	交付金	ふるさと応援寄附基金繰入金	一般財源
13節 宿泊ネットワーク調査業務委託	350	150	200	
合計	350		350	

合宿所建設事業

位置図



合宿所建設 位置図



計画面

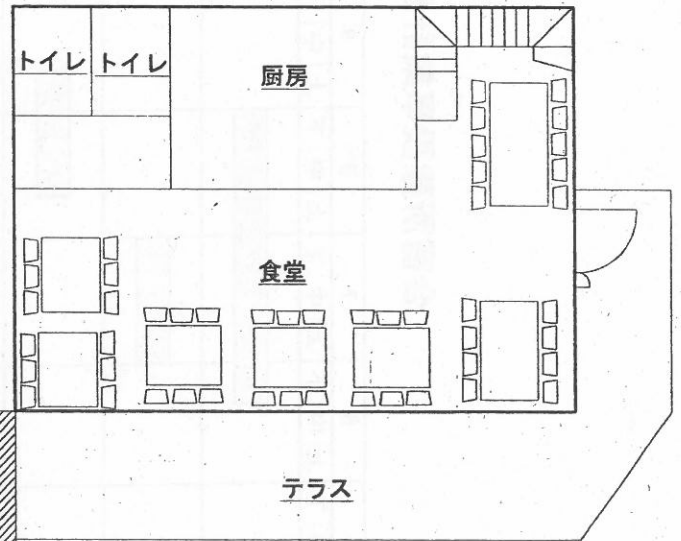
	既存施設 <食堂・管理棟>	新築 <宿泊棟>	
	面積 (m ²)	面積 (m ²)	宿泊 人数
1F	93.48	180	24
2F	20.54	180	24
合計	114.02	360	48
	474.02		

間取り図(案)

(新設)



(既存施設)



平成29年6月13日

産業振興課

「エミューシンポジウム」を開催します

高齢化の進展や後継者の不足など、農業を取り巻く環境は、厳しさを増すばかりです。そのような中、耕作放棄地の増大は中山間地域にとって大きな問題となっており、その対策は地方の山村集落にとって待ったなしの課題となっています。その一つの打開策として、本町では、エミューに着目して、地方創生に取り組んでいます。

エミューは「産業鳥」とも呼ばれ、食肉はもちろんのこと、脂、卵、羽毛、皮など全ての部位を商業的に活用できる可能性を持っています。町では、この可能性を実現するため、産官学が連携した耕作放棄地の再生による循環型農業の取り組みや美容家として著名な佐伯チズさんなどの有識者の支援により、エミューのエッセンスを使った美容液など未来志向の商品開発にも挑戦しています。

多くの方にエミューの魅力とその可能性を知って頂くとともに、日本中に更なるエミュー関係者のネットワークを構築するため、シンポジウムを下記のとおり開催します。エミューに関心のある方はどなたでも参加できます。ご来場、首を長くしてお待ちしています。

記

- 1 日 時 平成29年7月29日（土）13時～16時
- 2 場 所 基山町民会館 大ホール（佐賀県三養基郡基山町大字宮浦 666 番地）
- 3 主 催 基山町、エミュー産業化促進実行委員会
- 4 後 援 在福岡オーストラリア領事館、九州経済産業局、九州農政局、佐賀県、
（一社）ジャパン・コスメティックセンター、
（公財）オイスカ西日本研修センター（順不同予定）
- 5 入場料 無料

問合せ先

産業振興課 ブランド化推進室

Tel:0942-92-7945 Fax:0942-92-0741

Mail:brand@town.kiyama.lg.jp

平成29年6月13日

産業振興課

「第30回きのくに祭り」が開催されます

基山町をあげた夏の一大イベント「第30回きのくに祭り」が、7月22日（土）に基山駅前通り・基山モール商店街をメイン会場に開催されます。

今回のきのくに祭りは、「第30回」の節目を記念して、M-1グランプリ2009チャンピオンの「パンクブーブー」、九州のバラエティ番組の顔「コンバット満」、福岡吉本所属の若手芸人「スリーナイン」を特別ゲストに招待するほか、特別イベントも予定しております。もちろん、恒例の地元団体によるパレード、餅まきや熱い戦いが繰り広げられる各地区対抗のつな引き大会のほか、「ヘレモアナ」による本場のタヒチアダンス、佐賀のご当地アイドル「佐賀乙女みゅースター&ピンキースカイ」のライブなど大人から子どもまで楽しめる内容となっています。

また、会場では、地元スポーツ団体等による模擬店や露店が並び、改装されたモール商店街のグリーンロードでも、お絵かきコーナーやマルシェなどのイベントが開催されます。夏休み最初の週末は、ぜひきのくに祭りにご参加ください。

記

1 日 時 7月22日（土）13：00～21：00

第1部	13：00	パレード
	13：30	開会式・餅まき
	14：15	つなひき大会（大人の部）
	15：45	つなひき大会（子どもの部）
第2部	17：15	第2部イベント
	19：45	町民総踊り
	20：15	閉会
	※臨時売店は21：00まで営業	

2 主 催 きのくに祭り振興会

問合せ先
産業振興課 ブランド化推進室
Tel:0942-92-7945 Fax:0942-92-0741
Mail:brand@town.kiyama.lg.jp

平成29年6月13日

まちづくり課

「由紀さおり・安田祥子コンサート」を開催します

町民会館開館20周年記念事業として、「由紀さおり・安田祥子コンサート」を公演いたします。

記

1. 日時 平成29年8月5日（土）16:00開演
2. 場所 町民会館大ホール
3. 対象 小学生以上（未就学児の入場はできませんが、託児室を開設いたします）
4. 料金 全席自由
一般2,500円（当日3,000円） 高校生以下1,500円（当日2,000円）
前売券で完売した場合は、当日券の発売は行いません。

問合せ先

まちづくり課 文化・スポーツ係

Tel:0942-92-7935 Fax:0942-92-0741

Mail:bunka-1@town.kiyama.lg.jp

平成29年6月13日

まちづくり課

「世襲戦隊カゾクマンⅡ」を開催します

町民会館開館 20 周年記念事業として、「世襲戦隊カゾクマンⅡ」を公演いたします。

記

1. 日時 平成29年8月18日（金）19：00 開演
2. 場所 町民会館大ホール
3. 対象 小学生以上（未就学児の入場はできませんが、託児室を開設いたします）
4. 料金 全席自由 2,000円 前売券で完売した場合は、当日券の発売は行いません。

問合せ先

まちづくり課 文化・スポーツ係

Tel:0942-92-7935 Fax:0942-92-0741

Mail:bunka-1@town.kiyama.lg.jp

平成29年6月13日

まちづくり課

2017男女共同参画週間記念フォーラムを開催します

基山町では、佐賀県、佐賀県立男女共同参画センター（アバンセ）などとの共催で『住民参加の地域づくり 東日本大震災に学ぶ』と題して男女共同参画週間記念フォーラムを開催いたします。

参議院議員や千葉県知事を務め、防災や災害復興に関する政策提言活動もされている堂本暁子さんのご講演と、パネルディスカッションでは、実際に熊本震災の復興ボランティアとして参加された町内在住の内村好子さんも加わっていただきます。

災害に強い地域づくりとは、という視点で男女共同参画を一緒に考えてみませんか。

記

1. 日時 平成29年6月24日（土）13：30～16：00
2. 場所 基山町民会館 大ホール
3. 内容 講演 堂本暁子
パネルディスカッション コーディネーター 内田信子
パネリスト 堂本暁子・松田町長・内村好子
4. 料金 無料

※6月23日から29日は
『男女共同参画週間』です

問合せ先
まちづくり課 協働推進係
Tel:0942-92-7935 Fax:0942-92-0741
Mail:kyodosuishin@town.kiyama.lg.jp

平成29年6月13日

まちづくり課

基山町立図書館はおかげさまで1周年を迎えました

基山町立図書館は、4月1日に開館1周年を迎えました。この1年間の来館者数は133,293人、図書の貸出冊数は258,477冊と旧図書館の2倍以上のご利用がありました。

また、下記3つの賞を受賞いたしました。

1. ブックスタート事業やセカンドブックプレゼント事業、子ども読書週間事業など、長年の児童サービスに対する取り組みを評価され、平成29年度子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受けました。
2. 新図書館の施設案内や書架案内などのデザイン性を評価され、第50回日本サインデザイン賞において、公共サイン部門の日本サインデザイン賞(分類A2入選)を受賞しました。
3. 図書館施設内の照明について評価され、平成28年照明普及賞九州支部選考委員会において九州支部長賞を受賞しました。

問合せ先

まちづくり課 図書館係

Tel:0942-92-0289 Fax:0942-92-1108

Mail: toshokan-1@town.kiyama.lg.jp

平成29年6月13日

こども課

4歳児就学準備事業（発達状況調査）の結果を通知します

平成28年度に実施した、4歳児準備事業（発達状況調査）の結果を通知します。

この検査は平成28年度に新版K式発達検査2001を用いて実施した検査で、基山町内の希望する4歳児（129人/138人 93.5%）を対象に、各園又は保健センターで平成29年2月から3月にかけて実施しました。

その検査結果を基に、基山町独自で保護者通知用フォーマットを作成し、検査の様子、得意なこと、苦手なこと、おススメの取り組み等を記載し、6月下旬から通知を予定しています。

記

1. 通知時期 平成29年6月下旬から順次
2. 場 所 各園及び基山町保健センター
3. 通知方法 保護者に対して説明を交えて順次手渡し
4. 対 象 4歳児検査を受けた5歳児

問合せ先

こども課 子育て支援係

Tel:0942-92-7968 Fax:0942-92-7184

Mail:kosodate-5@town.kiyama.lg.jp

保護者さま

ピカピカの一年生プロジェクト

平成28年度「にこにこ4歳児就学準備事業」にご理解いただきありがとうございました。

昨年度の2月から3月にかけて子どもたちへの検診を実施し、その結果をお渡しします。

「全ての子どもたちに、自分の力を知るチャンスを」

この事業の主旨を、これからの支援につなげていきたいと思っております。

結果の受け取りにおいて、さまざまな印象をお持ちになるかもしれません。以下の留意点をご参照の上、ご質問などございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

留意点

- ※ 成長の一時点での結果です。これからの成長と経験によって、結果の特徴が変化する可能性は大いにあります。
- ※ 結果には、好奇心・意欲・情緒などの影響が反映されてきます。
- ※ 得意と苦手は表裏一体です。お互いが補い合っていることが多く、「苦手がない」ということはありません。
- ※ 得意なことはこれからも伸ばし、苦手なことは少しずつ和らぐようご活用いただければと思います。
- ※ もっと詳しく知りたい・結果の活かし方がわからない・結果に納得できないなどありましたら、ご家庭だけで抱え込まず、ぜひお声を聞かせください。

お問い合わせ先：基山町役場 こども課
TEL 0942-92-7968

ピカピカの一年生プロジェクト

平成28年度「にこにこ4歳児就学準備事業」

企画：佐賀県基山町

受託者：社会福祉法人洗心和合会 子ども家庭支援センター和合

保護者アンケートより

検診前に「子どもの強さと困難さアンケート」を実施しました。

それを通じて、保護者の方がお子さんのどのような面を心配に思っているのかを客観的に理解することで、検診の結果を活かしていただければと思っています。

アンケートではお子さんの5つの側面についてお尋ねしました。

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| ①私の強さ | ②気持ちの安定性 | ③行動面の落ち着き |
| ④お友達との関係 | ⑤思いやり・優しさ | |

アンケートの結果は、保護者の方からみたお子さんの姿です。親に見せる姿と園で見せる姿が異なることはよくあります。気になることがありましたら、園ではどのような様子なのか、先生にお尋ねになることをお勧めします。

～アンケート結果から～

お子さんについて、①に関して少しご心配されているようです。思いを通そうと、口答えをすることがあるでしょうか。検査場面では反抗的な様子は見られませんでした。自身の思いをポツと発言する様子が見られました。このような自己主張の一つとして、ご家族には強めに発言するのかもしれませんが。家族以外にも同様の様子が見られるようでしたら、自己主張の仕方を学習しないといけないかもしれません。しかし、ご家族にだけということであれば、甘えの表現の一つかもしれません。園での様子をお尋ねになれるのも良いですね。

その他の項目については、高く評価されていました。アンケートから、元気で安定した、お友達と楽しく過ごせるお子さんのように感じられました。お子さんの良い面に気づいていることは素敵なことですね。

検査時の様子（新たな環境になった時の反応が予測できる）

不慣れな状況でも、緊張した様子は見られず終始表情は良かった。気になるものがあると身を乗り出すような行動はあるものの、触ったり、離席したりというようなことはなかった。作業課題はとても丁寧で時間をかけて取り組んでいた。しかし、その疲れからか気乗りしなくなると集中が途切れる様子も見られた。

→小学校入学など、環境が大きく変わっても、すぐに慣れると思われる。興味関心が高く、楽しく過ごせるだろう。その時の気分の状態でがんばれたり、途中でわからなくなったりということがあるかもしれない。

得意なこと

- ・細部に注意を向けること
- ・聞いたことを覚えておくこと

苦手なこと

- ・頭の中で考えること
- ・複数の情報をまとめること

おススメの取り組み

お子さんは、年相応にしっかりと力をつけています。特に聞いたことを覚えておくことに関しては実年齢以上の力を発揮していました。作業の取り組みはゆっくりとしているように見えるかもしれませんが、作業はとても丁寧で、細部に慎重になって完成させる集中力は素晴らしいものです。それゆえ、息抜きが必要なようで、続けての作業では気が散っているように誤解されるかもしれません。

苦手なことに関しては、年相応の力ですので、心配を要するほどではありません。上記のように、聞いたことを覚えるのは得意ですが、それを頭の中で展開すると困惑するようです。シンプルなら問題ないのですが、少し複雑になってくるとやはり、困惑するようです。

以上のことから…

☆ONとOFFの切り替えを日常的に意識させる。→「頑張ったね。休んでいいよ」「〇分まで頑張ってみようか」などの声かけを増やしてみる。

☆お子さんが考えながら困惑してきたら、話している内容を絵や図などに書き出すなどして、考えを見える状態にして一緒に整理してみる。

☆絵本の絵を説明してもらおう→各部分の説明が続くなら「要するに〇〇ね」と状況をまとめる声かけを増やしてみる。

平成29年6月13日

健康福祉課

特定健診受診（ピロリ菌検査）や「いきいき百歳体操」で健康ポイント獲得！

4月より「基山町健康ポイント事業」を開始しています。これは、町が実施する健康づくり事業や介護予防事業に参加された方に対し、健康ポイントを付与するもので、高齢者がいつまでも基山町でいきいきと暮らしていけることを願っています。

対象事業となっているもののうち、今年度から特定健診のオプションとして、胃がんのリスク因子と言われている「ピロリ菌の検査（500円）」を実施しています。

年に1回の「特定健診」で、健康チェックを行い病気の早期発見、早期治療を推進していきます。

また、介護予防事業として各区公民館での普及を目指している。「通いの場」もスタートしています。「通いの場」では、国も推奨する「いきいき百歳体操」をボランティアである介護予防サポーターが週1回行っています。現在は、老人憩の家（元気サークル）、風のふく丘三ヶ敷（元気カフェ）、そして4月よりスタートした「10区通いの場」の3か所ですが、今後、歩いて行ける場所での実施を目指し、各区での実施普及を図っていく意向です。

積極的に健診受診や通いの場等への参加により健康ポイントを獲得してください！

記

1. 健康ポイント事業対象

基山町に住所を有し、次のいずれかに該当する方

①65歳以上の方

②町が実施する養成講座を修了した「介護予防サポーター」で対象事業において活動された方

2. 利用の流れ

①対象事業に参加（受診）するとポイントカードにスタンプ1個（5ポイント）

②スタンプ20個（100ポイント）たまったら、きのくにカード100ポイントと交換